

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	橋梁維持補修事業							予算事業名	橋梁維持補修事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法第42条			
			08	02	02	2201	経常経費					
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 快適で住みやすいまちづくり 道路維持管理の充実							事業の区分	主要事業			
								担当課係等	土木課 管理係・維持係			
事業期間	継続 ( 年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
令和6年度に更新を行った結城市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の維持管理を行うことにより、維持管理費用の縮減、平準化を図りつつ、安全で安定的な橋梁の維持管理を実現する。							平成26年度に道路法が改正され、道路橋定期点検要領に則り、5年に1度の定期点検が義務付けられた。これを受けて令和元年度に結城市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、令和6年度に計画の更新を行ったことから、令和7年度以降この計画に従い維持管理を行っていくもの。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
結城市橋梁長寿命化修繕計画では、将来50年に渡り、市内228個所の橋梁構造物の維持管理に係る計画を定めている。この計画に基づき橋梁の維持管理を進める。							橋梁の利用者					
							【事業をとりまく環境の変化】 結城市の管理する橋梁は、昭和30年代に始まる高度経済成長期を中心に建設され、これらの橋梁の多くは建設後50年以上が経過し、多くの橋梁に経年劣化が生じており、計画的で経済的な維持管理が急務の課題となっていた。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>無名橋4外5橋の修繕工事</li> <li>無名橋10外2橋の修繕設計</li> <li>秋谷瀬橋外123橋の点検</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>無名橋10外2橋の修繕工事</li> <li>田川橋外2橋の修繕設計</li> <li>移管予定の新田川橋 (旧50号線) 外104橋の点検</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>田川橋他2橋の修繕工事</li> <li>二国橋外2橋の修繕設計</li> </ul>				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	7,346	26,950			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	2,800	10,900			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	6,794	12,650			
歳 入 計 ( 千 円 )		16,940	50,500			
歳 出 内 訳	節 ( 番 号 + 名 称 )	金額 ( 千円 )	金額 ( 千円 )			
	12 委託料	7,128	34,500			
	14 工事請負費	9,812	16,000			
歳 出 計 ( 千 円 ) ( A )		16,940	50,500			
伸 び 率 ( % )			198.11			
備 考						

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	点検橋梁数	橋	目標	0.00	75.00	125.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	修繕橋梁数	橋	目標	8.00	3.00	6.00
			実績	8.00	0.00	0.00
成果 指標	修繕必要橋梁数(判定Ⅲ)	橋	目標	2.00	0.00	0.00
			実績	3.00	0.00	0.00
	点検橋梁数(累積)	橋	目標	0.00	75.00	125.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	道路法により橋長2m以上の橋梁は5年に一度の定期点検が義務付けられている。また、橋梁インフラは、市民生活、経済軽道、国土保全にとり不可欠な社会基盤であることから必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	橋梁管理者である市が行うことから妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	橋梁長寿命化修繕計画に基づき維持・管理を行っており妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	橋梁長寿命化修繕計画に基づき予防も含めた早期の対応を実施しており、将来の管理経費の縮減に努めている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民が日常的に利用する橋梁に対する事業であり、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	適切で早期の維持管理は、将来の大規模な改修の必要性を減らすことにつながり、ライフサイクルコストの縮減につながる。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	橋梁がある限り、5年に一度の点検、設計、修繕のサイクルが繰り返されることから終わりのない事業である。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

管理対象橋梁が228橋と多いことから、その維持・管理には大変苦慮するとともに維持管理には多額の費用が必要となる。そのため、令和6年度に更新を行った橋梁長寿命化修繕計画を有効に活用し、新しい技術の導入や予防的措置を行うことで今後の維持・管理費用の縮減を図る。併せて管理する橋梁の集約・廃止も検討していく必要がある。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

補助対象事業であるが、ここ数年補助率の低下が著しい。その要因としては経済状況もさることながら、事業採用に当たり新技術の導入が必要不可欠となることから、橋梁長寿命化修繕計画に基づき積極的に新技術の導入を図る。

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）  改善改革しながら継続  現状のまま継続（改善・改革なし）  統合・新規事業への展開  
 縮小  休止  廃止・終了  予定どおりの要求  一部改善の上要求  今回は見送り  その他の処置

方向性の具体的内容

結城市が管理する228橋について、令和6年度に更新した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、経済性、耐久性を考慮しながら、適正な修繕管理を実施するとともに、橋梁の集約化を検討する。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）  改善改革しながら継続  現状のまま継続（改善・改革なし）  統合・新規事業への展開  
 縮小  休止  廃止・終了  予定どおりの要求  一部改善の上要求  今回は見送り  その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり

管理課連絡欄